

<大人の楽しみ方33>

カンタオールの世界

～フラメンコ音楽とスペイン語歌曲～

〔演奏予定曲〕

マラゲーニャ(フラメンコ伝統曲)

ファリャ:7つのスペイン民謡

ヒナステラ:忘却の木の歌 ほか

魂をふりしぼるような深い歌声
カンタオール
フラメンコ歌手が魅せる魅惑の世界!

2023年

2月19日(日)

14:00開演(13:30開場)

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール 小ホール

《チケット料金》〔全席指定・税込〕

一般3,000円/青少年(25歳未満)1,500円

※6歳未満は入場できません。託児サービスをご利用ください。

《チケット発売》

◎一般発売……………11月19日(土) 10:00～

◎友の会優先発売…11月17日(木) 10:00～
(インターネットおよび電話受付のみ)

《お問い合わせ》

びわ湖ホールチケットセンター

TEL.077-523-7136

(10:00～19:00/火曜休館、休日の場合は翌日、12/29、30、1/1～3は休館。
ただし、チケットセンターは12/30は電話受付のみ、12/31は10:00～17:30営業。)

<https://www.biwako-hall.or.jp/>

石塚隆充

(カンテ、フラメンコギター)

石塚まみ

(ピアノ、ボイス)

コモブチキイチロウ

(ベース)

大儀見 元

(パーカッション)

主催:滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



叶 匠 壽 庵



平和堂



木の家専門店

谷口工務店

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー

カンタオールの世界

～フラメンコ音楽とスペイン語歌曲～

人生の喜び、悲しみ、苦しみ…全てを表現するフラメンコ音楽。フラメンコ音楽は、踊りとギターと歌(カンテ)から成り立ち、その歌い手はカンタオール(フラメンコ歌手)と呼ばれます。今回は、日本を代表するカンタオール 石塚隆充が知られざるその世界を紹介します。前半は本人の弾き語りにより「プーロ(純粋)」で「ホンド(深い)」なカンテ(歌)をお聴きいただくほか、後半は、ピアノ、ベース、パーカッションを加えたカルテットで中南米を含むスペイン語の歌をお届けします。情熱と哀愁に満ちたカンタオールの世界をお楽しみください!



石塚隆充 Ishizuka Takamitsu (カンテ、フラメンコギター)

1973年生まれ。声楽専攻の学生時代に趣味で熱中していたフラメンコギターから、カンテ(歌)に出逢う。97年日本フラメンコ協会「新人公演」奨励賞。受賞翌年から渡西、通算8年の現地滞在を経て、スペイン人アーティストやメディアにも認められる実力を伴う。フラメンコの伝統曲から日本語作曲まで通算3枚のアルバムをリリース。日生劇場オペラ出演をはじめ、クラシック、ジャズ、ラテンなど、他ジャンル演奏家との共演や、舞台音楽監修、TV・ラジオ等のメディア出演、レッスン、教則本執筆を通じたフラメンコ普及にも献身している。一般社団法人日本フラメンコ協会理事。 <https://linktr.ee/takante>



コモブチキイチロウ Komobuchi Kiichiro (ベース)

1966年東京生まれ、香港、横須賀育ち。15歳でエレキベースを始め、20歳からセッション活動を開始。ブラジル音楽に傾倒、97年のボサノヴァ生誕40周年コンサート<Gets Bossa Nova>出演、ワンダ・サー、カルロス・リラ、ドリ・カイミ等の日本公演をサポート、99年リオデジャネイロでミュシャのアルバム録音に参加。加えて、渡辺貞夫バンド、渡辺香津美、玉置浩二、渡辺真知子、マリーン、小野リサ、Chakaなど国内アーティストとの共演を重ね、ジャズ、フュージョン、ラテン、R&B、ソウル、ポップス、フラメンコなど多様なフィールドで活動。コロナ禍以降、ブラジルとのリモート共同制作作品(YouTube等で公開)にも取り組んでいる。 <http://comobass.com/>



石塚まみ Ishizuka Mami (ピアノ、ボイス)

東京生まれ。3歳からピアノと戯れ、弾き語りも始める。国立音楽大学ピアノ科卒業後、都内中学校教員を経て、現在は「人々の心が温かくなる音楽の発信」を願って活動中。『思い出の空』、『素敵な出逢い』などのCD作品のほか、2021年日本の四季を歌った新作『Four Seasons』をリリース。渡辺真知子のステージではサポートリーダーを務め、近年では中井貴恵の「おとな絵本の朗読会」シリーズ、竹下景子の朗読公演「ひめゆり」を忘れない(綜映社)にて作曲・ピアノを担当。 <https://linktr.ee/mamipiano>



大儀見 元 Ogimi Gen (パーカッション)

1963年生まれ。幼少期よりビートルズに心酔。84年オーケスタ・デ・ラ・ルス結成、89年NY進出(後にグラミー賞カリビアン音楽新人賞ノミネート)、90年脱退。91年Tito Nievesオーケストラにコンガ奏者として参加、95年帰国。97年SALSA SWINGOZA、2019年swingoza+を結成、日本のサルサシーンを牽引すると共に、Dreams Come True、角松敏生、矢沢永吉、菊地成孔、佐藤竹善、葉加瀬太郎、絢香、藤井フミヤ、大西順子、Dandyism Banquet、フラメンコ曾根崎心中、沖仁などのコンサートツアーやレコーディングに参加。世界中で体得したリズムのエッセンスを消化アレンジして繰り出すグルーブは唯一無二である。 <https://linktr.ee/genogimi>

【チケット購入】

びわ湖ホールチケットセンター TEL 077-523-7136

(10:00~19:00/火曜休館、休日の場合は翌日、12/29,30,1/1~3は休館。ただし、チケットセンターは12/30は電話受付のみ、12/31は10:00~17:30営業。)

インターネット受付 <https://www.biwako-hall.or.jp/>

- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> 【Pコード213-816】
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> 【Lコード52221】
- e+(イープラス) <https://eplus.jp/> (座席選択サービス有)

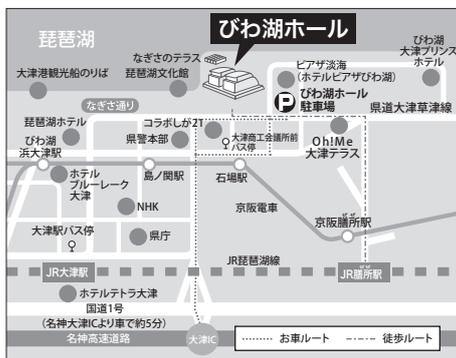


【注意事項】

※都合により、出演者、曲目等が変更になる場合があります。※6歳未満のお子さまはご入場いただけません。びわ湖ホールでは託児サービスがございます。詳しくは下記をご覧ください。※びわ湖ホール友の会優先発売期間中の窓口販売はありません。※お申し込みいただいたチケットのキャンセル、変更はできません。※チケットお申し込み後、期限内に所定の手続きをされなかった場合は、チケットの販売・引渡しをお断りいたします。※びわ湖ホールではテレビカメラ機能のついた補聴器や人工内耳を使用される方は、テレコールモードに切り替えることとアングラーを使用した音声をお楽しみいただけます。

《ご来場される方へお願い》 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下についてご理解、ご協力をお願い申し上げます。

- 滋賀県のガイドラインに基づいた客席数のチケットを販売します。● 来館時は必ずマスクを着用ください。● 館内に手指消毒用アルコールを設置していますので、ご利用ください。
- 発熱・体調不良の場合は、来館をお控えください。● 入場時には体温チェックを実施します。37.5度以上の発熱がある方は入場をお断りいたします。入場までにお時間がかかることが予想されますので、十分な余裕をもってお越しください。● 入場時等は一定の距離を保ってお並びください。開演前、休憩時間では極力会話をお控えください。● プログラムなどの配布物は所定の位置に設置しますので、ご自身でお取りください。
- スタッフも全員マスクを着用し、極力声を出さないようにいたします。また、フェイスシールドや手袋を着用する場合もございます。● クロークは利用できませんので、お手荷物を少なくてご来場ください。
- 出演者への差し入れ・面会はお控えください。● 万が一、公演後に感染症を発症された方がいらっしゃった場合は、保健所等の公的機関に求められた場合に限り、チケット購入者の名簿を提出いたします。
- 感染予防対策をはじめ、やむを得ない事情により、曲目や当日の対応等に変更が生じる場合がございます。



【びわ湖ホールへの交通のご案内】

- JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分、またはバス湖岸線約5分(大津大宮会議所前下車。徒歩約4分)
- JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分、または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分

《駐車場の案内》

有料849円/24時間営業
料金:4時間まで毎時210円
※詳細はびわ湖ホールホームページにて



託児サービスのご案内

- 対象/1歳以上、6歳未満
- 利用料金/お子様一人につき、1,000円
- 開設時間/13:30~公演終了後30分まで
- 申込方法/2月12日(日)までに
びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136にお申込みください。

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133(代)
<https://www.biwako-hall.or.jp/>